



SPARC
Service Platform Architecture Research Center



「次期テストベッドネットワークに関するアンケート」 の結果について

2009年6月29日

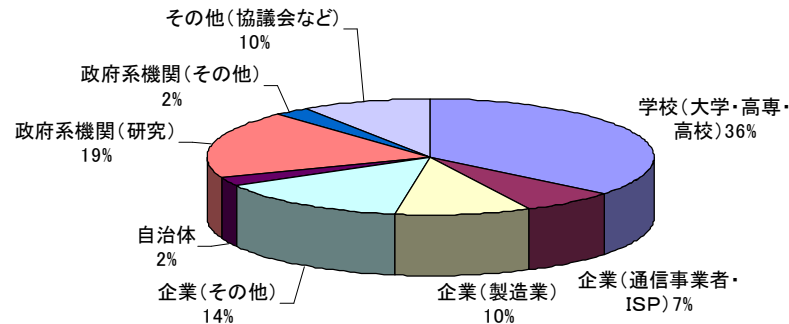
情報通信研究機構 連携研究部門

テストベッド企画戦略グループ

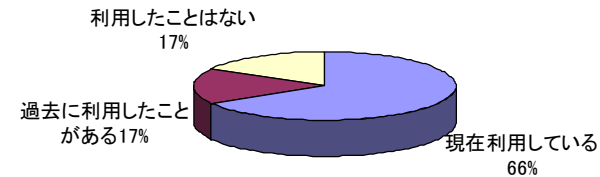
高西 功

2009年3月実施（回答数：41）

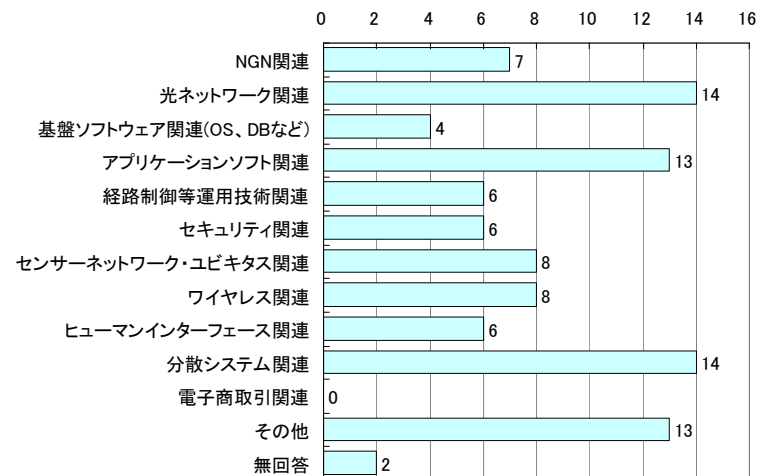
【Q1】貴機関（貴部署）についてお答えください。
（下記よりひとつ）



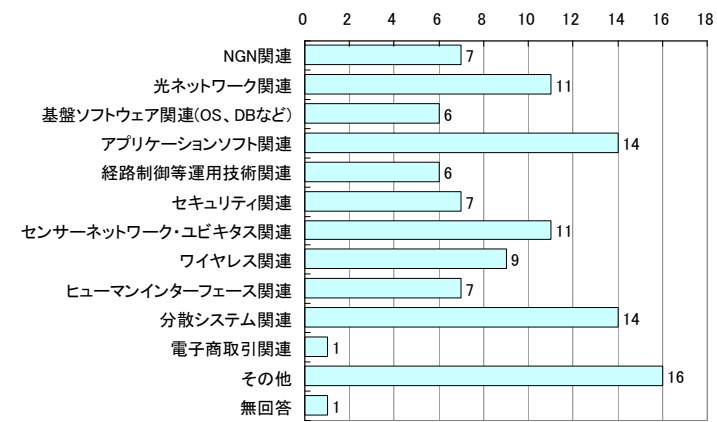
【Q2】研究開発テストベッドネットワーク（JGN/JGN2/JGN2plus）を利用したことはありますか。（下記よりひとつ）



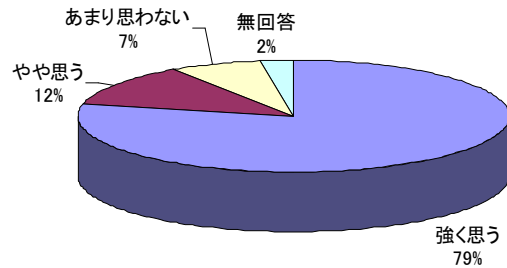
【Q3】現在、貴機関（貴部署）において、ネットワーク関連分野に関して重点的に取り組んでいる分野/技術をお答えください。（複数回答）



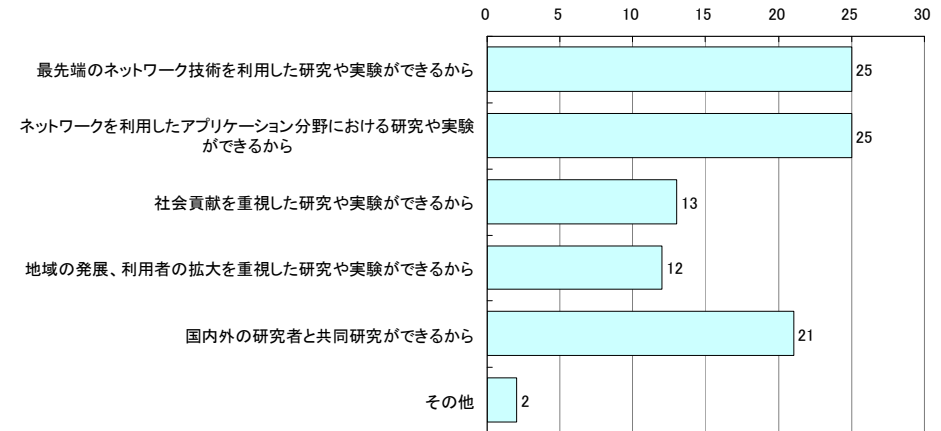
【Q4】今後、貴機関（貴部署）において、ネットワーク関連分野に関して重点的に取り組んでいく予定の分野/技術をお答えください。（複数回答）



【Q5】Q4でお答えいただいた取り組みは、今後、研究開発テストベッドネットワークを利用して実施する必要性があると思いますか。(下記よりひとつ)

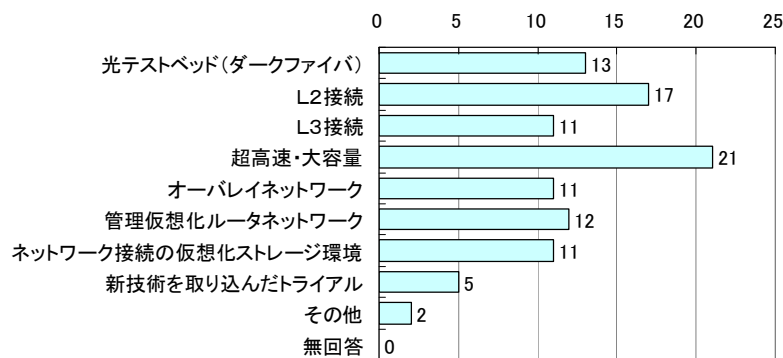


【Q6】Q5で「強く思う」「やや思う」とお答えいただいた方にお尋ねします。利用する必要があると思う理由は何ですか。(複数回答)

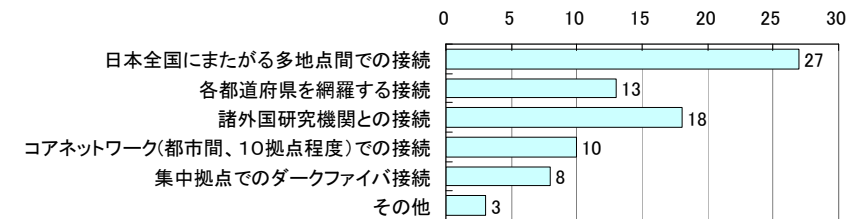


【Q8】今後、どんな研究開発テストベッドネットワークが必要だと思いますか。(複数回答)

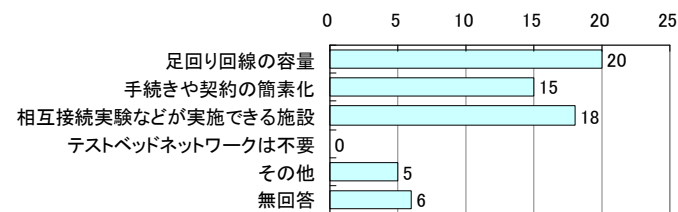
①「機能について」



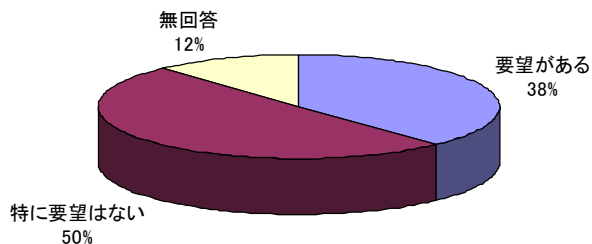
②「構成について」



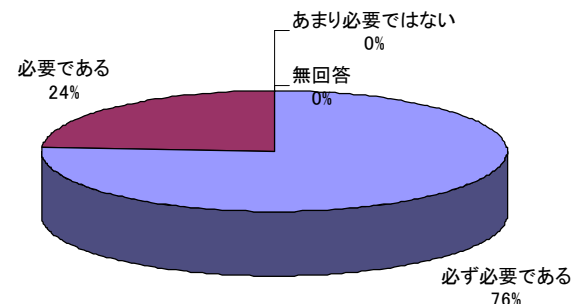
③「その他」



【Q9】具体的に海外と接続したいという要望がありますか。(下記よりひとつ)



【Q10】研究開発用テストベッドネットワークは日本における情報通信分野の発展において必要だと思いますか。(下記よりひとつ)



【Q11】「ネットワーク」(テストベッドネットワークにこだわらない)に対する機能についてお尋ねします。(自由回答:抜粋)

①インターネットには「保守管理運用機能(OAM)」がありませんが、ネットワーク側に備えても良いと思う「OAM機能」がありますか。

- ・帯域の制御機能
- ・VLANの可視化とユーザ権限による動的な設定
- ・L2, L3レベルの統計情報の取得と、QoSパスの設定
- ・アプリケーションレベル品質の統計情報取得
- ・仮想資源割り当て機能
- ・導通パス管理、LPBテスト、ヘルスチェック
- ・DPI (Deep Packet Inspection)
- ・perfSONAR と DCN機能
- ・帯域予約
- ・故障管理、品質管理、起動・停止制御管理等の機能
- ・疎通性確認機能、フレームロス・伝送遅延測定機能

②ネットワーク側に付加機能(エージェント機能など)を備えるとしたら、どんな機能が有効だと思われますか。

- ・自己パケット管理機能
- ・NGN SDPやクラウドコンピューティング基盤のようなサービスプラットフォーム機能
- ・資源仮想化機能、仮想資源割り当て機能
- ・通信の重要度に対応した信頼度の提供
- ・安全、信頼性確保のための機能
- ・利用者側のネットワークやアプリ、プロトコル環境の違いをJGN側で吸収して、簡単に相互接続できる機能
- ・ネットワークに端末を接続すると、瞬時に数ノード先までのネットワーク構成が自動作成される機能
- ・フローデータの取得(peakflow) や routeviewサーバ機能
- ・自分のパケットの中継ルータ等での通過制御エージェント